

2021年度 放課後等デイサービス 自己評価 集計結果

公表日：令和4年2月15日



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
体制 環境 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		✓		場所によって狭さはある。広さに差がある。適切なスペースをつくる。
	2	職員の配置数は適切であるか	✓			スタッフ同士が把握してフォローしあうようにする。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			✓	段差はないが、トイレ内など狭い。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓			業務前の打ち合わせ、振り返りの中で周知を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓			毎年実施し、多くの意見、意向を把握している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			ホームページにて公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	✓			スーパーバイザー(臨床心理士)による評価を受け、改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			外部研修の周知をしていく。各事業所にてスーパーバイズ研修等を実施。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			半期ごとに見直し、ニーズの聞き取りをしている。
適切な 支援の 提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			利用開始時に標準化されたアセスメントツールを用い、聞き取りしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			活動プログラムの内容をチームでアイデアを出し合い、計画している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓			利用者のアセスメントに応じて、プログラムを工夫。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓			休日、長期休暇を活用し、調理や外出を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			小グループ活動等取り入れる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			他の職員のケースや動きを各自が確認できるようにする。朝の打合せとして行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は 改善目標
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓			終了後に振り返りを行い、共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			毎日記録を記入し、保護者へもコピーをお渡しし、改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			年2回モニタリング後、保護者の意向を確認し見直ししている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	✓			創作、余暇活動を組み合わせたプログラムを考え、行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			療育担当スタッフ、児発官、管理者が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	✓			事業所連絡会への参加や保護者からのヒアリング、ホームページにて確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	✓			要医療的ケア利用者はいないが、利用する場合は看護師が対応。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		✓		保護者を通して情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			✓	要望があれば実施している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓			定期的な連絡会への参加。連携に努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓			事業所主催で、一般の方も参加できるコンサートや手作り体験教室を開催している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	✓			自立支援協議会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			保護者との連絡ノートを活用している。記録を毎回お渡しし、又面談を行い共通理解を持てるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			✓	法人内では必要に応じて行っている。研修への参加機会を増やしていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は 改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			契約及び更新手続きにて書面で丁寧に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			個別面談、メールによる相談、スーパーバイザー（臨床心理士）にて支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓			コロナ禍により実施できていないが、懇談会や茶話会を開催している。（年2回）
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			苦情受付窓口の掲示、意見箱を設置し、適切に対応できるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓			療育だよりの発行。 その他メーリングリストにて配信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	✓			写真等記録の使用について毎年書面にて確認している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			個々に応じ、連絡方法を変える。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓			法人主催イベントを実施し、参加や活動を周知している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			ファイルを入口に置き、閲覧できるようにしている。 マニュアルがより広く周知できるような工夫が必要。ポストの設置。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			年に1回以上訓練を行っている。 利用者参加の訓練を実施する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			虐待防止委員会の設置。ガイドラインの配布。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓			やむを得ず行う場合については、契約書に明記し、説明している。 対象者なし。支援計画には記載なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓			初回面談時に確認し、おやつファイルに掲示。 今後はおやつカゴに掲示していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			事業所内に事故対応手順を掲示している。 事例集を作成していく。